

「麦秋」到来！ 愛知県内トップの生産量を誇る西尾市で 小麦の収穫作業が6月初旬よりスタート！

12 つくる責任
つかう責任



愛知県内トップクラスの麦産地・西尾市で、6月上中旬にかけて麦の収穫作業が行われます。

西尾市内では水田1,280畝で麦の生産が行われており、**県内トップの年間7,650トンの小麦を生産**しています(2019年度産)。大規模水田農家の高い農業技術を背景に、2019年度産の都道府県別反収(10aあたり収量)では**愛知県の平均反収は563kgと2年連続全国1位と全国でも有数の生産力を誇っています。**

■収穫風景 取材対応日■

【日時】6月3日(水) 午前9時50分集合

【場所】JA西三河あぐりセンター小牧
(西尾市吉良町小牧梶見堂35番地)

取材先農家：花木道明さん
(西三河農協農作業受託部会 部会長)

※集合後、収穫を行っている農家の水田へご案内します。取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

※雨天等の天候不順の場合には収穫を行わない場合があります。その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。



見渡す限りの「麦秋」風景の中
麦収穫が行われます

■今年の作柄

今年は暖冬により例年に比べて1週間から10日早く生育していましたが、4月の気温が平年より低かったため、収穫は例年同様6月1日より始まる予定です。

※今後の天候により作柄は変わる場合があります



【お問い合わせ・ご連絡先】
JA西三河(西三河農業協同組合)
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美
TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-4251
HP：<http://www.ja-nishimikawa.or.jp/> Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関およびJAグループ愛知記者会あてに発出しています。また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

西尾市の麦生産の概要

～大規模農家の技術が支え 愛知生まれの品種で収量増～

■ 西尾市の麦生産 水田作プロ集団の技術力

西尾市では米の生産調整のため、昭和50年代ごろからブロックローテーション(米・麦・大豆を水田で2年間に1作ずつ生産する)が行われています。

専業農家への水田の集積が進んでおり、水田農家一戸あたりの耕作面積は非常に大規模。また、「**面積当たりの収量が高い**」ことも大きな特徴です。小麦については、反収(1反=10aあたりの収穫量)が597kgと、愛知県の平均反収(563kg)を約1割近く上回っています(2019年度産)。大規模経営を行う専業農家の高い技術力を背景に、生産性の高い農業を実践しています。

2013年からは新品種小麦「きぬあかり」の栽培を本格的にスタート。面積の拡大と合わせて産地全体の生産量も年々向上しています。2020年度産では「きぬあかり」75%、「ゆめあかり」25%を栽培する計画。ともに愛知県農業総合試験場で開発された2品種に集約し、農家所得の向上と愛知県産小麦のブランド化を図っていきます。

■ 愛知生まれ小麦「きぬあかり」と「ゆめあかり」

多収品種「きぬあかり」

2019年度は、**約1,142㍏(約9割)**で栽培。『絹のように明るく白い色のうどんが作れる』ことを由来に持ち、小麦粉の白さだけでなく、



「① 面積あたりの収量が高い」、「② 倒れにくい」、「③ コシのある麺が作れる」、「④ 湿害に強い」、「⑤ 収穫時期が早く、梅雨と重なりにくい」などの優れた性質を持っています。

西尾市では2013年度から生産が始まり、2015年度には面積の8割を占める主力品種に。面積の拡大と合わせて産地全体の生産量も年々向上。飲食店や食品加工業者による「きぬあかり」を利用した商品を作る動きも盛んです。

新品種硬質小麦「ゆめあかり」

西尾市内では2016年度より、パンなどの製造に適する硬質小麦「ゆめあかり」を試験栽培しています。

西尾市では2017年度に10㍏、2018年度に45㍏と徐々に面積を増やし、2019年度(2018年11月播種・翌19年6月収穫)は本格的に大規模での栽培をスタートさせ、**約110㍏(約1割)で栽培**。



新品種小麦「ゆめあかり」

【生産者部会情報】

名称：西三河農協農作業受託部会

部会員数：48人(米・麦・大豆の専業農家で組織)

耕作面積：〈米・麦・大豆合計〉4,200㍏(延べ面積)
〈うち麦のみ〉水田1,200㍏・畑52㍏ 計1,252㍏

麦収穫時期：5月末～6月中旬

麦荷受け量：7,970ト 麦出荷量：7,650ト(2019年度産:愛知県内トップ)

流通：JAのカントリーエレベーターで荷受け後、JAあいち経済連を通して各地の製粉会社へ販売されます。
製粉会社で小麦粉に加工され、食品加工業者や飲食店、小売業者を通して消費者の手元に届きます。

※全国的小麦生産量 1,037,000ト(全国1位:北海道 677,700ト)

愛知県的小麦生産量 31,600ト(全国4位、都道府県別平均反収は愛知県が全国1位!)

【統計データ出典】

農林水産省 2019年産作況調査確報 麦類

農林水産省 2019年産作況調査 市町村別統計